

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

Amazon DocumentDB（MongoDB互換）サービスレ ベルアグリーメント

最終更新：2022年5月23日

本サービスレベルアグリーメント（「本SLA」）は、Amazon DocumentDB（MongoDB互換）（「Amazon DocumentDB」）の利用に適用される方針であり、Amazon DocumentDBを使用する各アカウントに個別に適用される。本SLAの契約条件と、[AWSカスタマーアグリーメント](#)または利用者による本サービスの利用に適用される当社と利用者との間の他の契約（「本件契約」）の契約条件の間に齟齬がある場合は、かかる齟齬の範囲に関してのみ、本SLAの契約条件が適用される。本SLAにおいて使用する用語（英文では大文字で始まるもの）のうち、本SLAで定義されていないものは、本件契約で定められた意味を持つものとする。

サービスコミットメント

AWSは、Amazon DocumentDBクラスターを、月単位の請求サイクルにおいて、99.9%以上の月間稼働率で利用可能にする商業上合理的な努力を払うものとする（「サービスコミットメント」）。Amazon DocumentDBがサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

サービスクレジット

サービスクレジットは、以下の表に従って、サービスコミットメントが満たされなかった請求期間について、Amazon DocumentDBクラスターに対し利用者が支払った料金の定率として計算される。

月間稼働率	サービスクレジット率
99.0%以上、99.9%未満	10%
95.0%以上、99.0%未満	25%
95.0%未満	100%

サービスクレジットは、Amazon DocumentDBについて今後利用者に請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWSから返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

次請求期間の当該クレジット金額が1米ドル（\$1 USD）を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、Amazon DocumentDBの提供における当社による利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合の利用者の唯一かつ排他的な救済は、本SLAの契約条件に従いサービスクレジット（該当する場合）を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、[AWSサポートセンターでケースを作成する](#)ことにより、請求（リクエスト）を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

- i. 件名に「SLA Credit Request (SLAクレジットリクエスト)」という文言。
- ii. 利用者が主張する各利用不可インシデントの日時。
- iii. 影響を受けたAmazon DocumentDBクラスタのAmazon DocumentDBクラスタIDおよびAWSリージョン。
- iv. エラーを記録し、利用者が主張する停止を裏付けるリクエストログ（これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク（*）で置き換えること）。

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、リクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

Amazon DocumentDB SLA例外事由

サービスコミットメントは、(i) 不可抗力事由またはAmazon DocumentDBの責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的な支配の及ばない要因に起因する場合、(ii) 利用者の作為もしくは不作為に起因する場合、(iii) 利用者が[Amazon DocumentDB開発者ガイド](#)に記載されている基本運用ガイドラインに従わなかったことに起因する場合、(iv) 利用者のデータベースワークロードの入出力容量が不十分であるためにリカバリ時間が長くなることに起因する場合、(v) 利用者の装置、ソフトウェア、もしくはその他のテクノロジーに起因する場合、または(vi) Amazon DocumentDBを利用する利用者の権利を当社が本件契約に従って停止もしくは終了したことに起因する場合（「Amazon DocumentDB SLA例外事由」と総称する）、Amazon DocumentDBのいかなる利用不可状態、停止、もしくは終了、またはAmazon DocumentDBのその他のパフォーマンス上の問題にも適用されない。

当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。

定義

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

- 所定のAmazon DocumentDBクラスターの「月間稼働率」は、月次請求期間中において、Amazon DocumentDBクラスターが利用不可状態となっていた1分間のインターバルのパーセンテージを100%から減じて計算する。利用者が月の一部期間のみAmazon DocumentDBクラスターを稼働させていた場合、稼働していなかった部分のAmazon DocumentDBクラスターは100%利用可能であると想定される。月間稼働率の測定では、Amazon DocumentDB SLA例外事由に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「利用不可」および「利用不可状態」とは、Amazon DocumentDBクラスター内のすべてのインスタンスへのすべての接続リクエストが1分間のインターバル中に失敗する状態を意味する。
- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされることのある、上記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 「Amazon DocumentDBクラスター」は、同一のAWSリージョン内の2つ以上のAWSアベイラビリティゾーンにある1つのストレージボリュームと2つ以上のAmazon DocumentDBインスタンスで構成される。